

自然感

くすのき

yumi



季節感

映画『ひまわり』で、ソフィアローレンの慟哭が胸を打つ...
一面のひまわり畑が戦争の非情さを無言で訴える...

『ヒマワリ』

平成19年8月1日
福岡市早良区南庄
大塚俊樹



熊洞居人独言

17

クマは熊洞居人として、国立博物館の山の南側斜面に洞穴を構え、朝に夕に宝満山を眺めて暮らしています。宝満山麓には竈門神社を始め、大石の高木神社、本道寺・柚須原の大山祇神社など鎮守の神が点在しています。高木神社の鳥居には「大行事」の扁額が掲げられています。また、竈門神社の境内を始め、各地の神社境内には、「大行司・大行事」の文字を彫り込んだ円い大岩が屹立しています。筑紫女学園大学の裏山である高雄山の山頂や、四王寺山の尾根などにも「大行司・大行事」の石碑が置かれています。さらに、範囲を広げて探してみると、大野城市内でも複数の石碑があり、少なくとも筑前の国の範囲には各地に点在しているようです。日田彦山線には「大行司駅」の名前もあります。

「大行司」の名前は、英彦山の神に由来するものであり、英彦山神社信仰の範囲を示すものでもあります。また、「高木神社」も各地の山中や山麓にあります。これはその土地の山神様を祀るものです。大石の高木神社の上方は桔梗ヶ原と呼ばれており、現在はクヌギ・コナラの植林となっていますが、かつては春にはキキョウなどが咲くススキ草原でした。また、古くは大行司原と呼ばれていました。また、近くの高雄山や四王寺山の中腹以上もかつては広大な草原でした。昔はこれらの草原は、牧場、茅場、生活用の草刈り場などとして、日常生活に欠かせないものでした。これらの草原利用は、里地里山利用の一環として古代から1950年頃まで続いていました。これらの草原の中心部に大行司の石碑は置かれていました。草原の利用と大行司信仰は深く係わっていました。

現在は付近の神社境内に移設されたものが多くありますが、現在も山中に残されている石碑は、その付近がかつては草原であった証拠であり、草原が利用されていた名残です。

身近な自然に気づく

事務局長 小野 仁

先に行われた年次総会の席で、図らずも事務局長に推挙され、お引き受けしました。田村さんをはじめとする多くの方々にご迷惑をおかけすることになりそうですが、皆様のご協力をいただきながら任務を遂行しようと考えています。

さて、本年度も「環境フェスティバルふくおか2007」が10月27、28日の両日に市役所をメイン会場として実施されます。例年と違うのは天神中央公園も会場となることです。先日、フェスティバルの実行委員会が開催され、ナイス福岡の代表として出席しました。この席で数名に委員から「例年のような各種のイベントのほかに、自然を体感できるプログラムを増やしたい」との意見が出され、ナイス福岡へ熱い期待が寄せられました。

これも、昨年度までの地道な活動が評価されたものと思っています。ナイス福岡が、「単なるお祭りにはしたくない」という実行委員会のお眼鏡にかなったということになります。

皆様のご協力をいただいて、天神中央公園で「身近な自然に気づく」プログラムを実行したいと思っています。なにとぞ、よろしく願いいたします。



☆観察会のお知らせ☆

～福岡市環境デー事業・ハチクマ観察会～

日時：2007年9月16日(日) 市役所に10時集合し、バスで油山へ移動。片江展望台でのハチクマ観察、午後は油山周辺の里山環境で自然観察を行います。16時終了。問い合わせと申し込みは、福岡市環境啓発課 担当/定岡・渡辺
連絡先 電話092-733-5381 FAX092-733-5592
電子便住所 k-keihatsu.EB@city.fukuoka.jp

◆三国丘陵の自然を楽しむ会の観察会に参加しました◆

(文・写真：松下彩二)

7月28日(土)18:30から簡保レクセンター跡地で「夜の観察会」がありました。夏休みに入ったばかりでしたが、子供は1人だけで、あとは大人13人(地元の方多数含む)という構成でした。

集合時刻頃はまだ明るく、ヒグラシが鳴き始め、鳥がそれぞれの塹を目指す様子を見ながら開始。草むらを進みながらバッタや蛾を見ながらすでにお祭り気分。丘に登る道すがら、美しく咲き誇るカラスウリの花やお休み中のウスバキトンボなどを観察しました。ひとり参加のお子さんも懐中電灯片手にいろんなものに興味津々で、カラスウリの蜜の味も体験し「甘い!」。



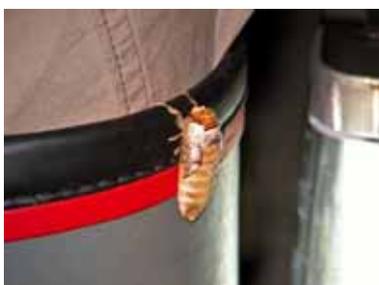
開けた場所に出るとまん丸のお月様がにっこり。これも双眼鏡で拝みました。

丘の上ではコウモリが飛ぶ姿が月に照らし出され、ナイス福岡お世話役の田村さんよりお借りしていた「バットディテクター(コウモリ探知機)」登場でさらに盛り上がります。高く、低く飛ぶ姿に呼応して変わる音にみな感心しきり。反応した周波数からどうもアブラコウモリのようなようです。この機械に親しみのある西村さん、重松さんのおかげでうまく楽しむことができ、虫の声やキーホルダーの鍵がぶつかる時の音波などディテクターの使い方の広がりも示して頂き大満足。広場の歩道に沿って歩いて行くと、大きなオニグモが門構え。電灯に照らし出される姿には圧倒されながらも皆さん「怖



いもの見たさ」か、ひとしきり観察できました。道端の草木にはお休み中のチョウやトンボがあちこちに。

一方、夜活動する連中の様子も見られました。ナナフシモドキのお食事、アブラゼミやスズメガの仲間の羽化、などなど見る方もあっちこっち目移りしてしまいます。



そして本日のメインイベント(?)クヌギやコナラに予め設置してあった(下見でご検討下さった結果の処置とのこと)代表の松永さん特製バナナに、集まっていました。比較的開けた場所の木にはゴキブリ、アリ、コメツクムシ、キリギリス、マイマイカブリ、アオイトトンボの仲間など、茂みの中の木にはクロコノマ、ノコギリクワガタ(おさんも興奮)、クチバ(蛾)の仲間などたくさん。昼間オオスズメバチがかじった天然の食堂にはカブトムシやアリ、ガなどが来て食事中でした。甘味と関係があるのかないのか、トビズムカデやゲジもあちこちの木で愛を語っていました。たぶん。

「三国丘陵の自然を楽しむ会ブログ」にもいろんな観察記事がありますのでご覧下さい。検索で引っかけられます。夜の観察はなかなか機会がないからか、夜独特の高揚感からか、子供はもちろん、13人の大人もすっかり子供になってしまっていました。とても楽しく貴重な観察会でした。松永さん、参加の皆さん、ありがとうございました。

日本野鳥の会福岡支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）

8 / 19 (日) 9 / 16日 (日)
天拝山探鳥会 (筑紫野市)
時間：9:00~12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112 (山本勝)

8 / 25日 (土) 9 / 22 (土)
久末ダム探鳥会 (福岡町)
時間：8:00~11:00
集合：久末ダム多目的広場横駐
車場 (管理事務所下)
問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)

9 / 2 (日)
今津探鳥会 (福岡市西区)
時間：9:00~12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005 (神園道男)

9 / 8 (土)
大濠公園探鳥会 (福岡市中央区)
時間：9:00~12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827 (森健児)

9 / 9 (日)
和白海岸探鳥会 (福岡市東区)
時間：9:00~12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)



日本野鳥の会筑後支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>

7月・8月の定例探鳥会はあ
りません。
問合せ：090-4516-4467 (木原)



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

8 / 25 (土)
時間：9:30~11:00 くらいまで
集合：簡保レクセンター跡地正門
問合せ：092-920-3072 (松永)
要：保険料・駐車場代 (小銭)

福岡植物友の会 主催

8 / 19 (日)
陽目溪谷 (大分県竹田市)
詳細は：092-947-6536 (大吉博子)

和白干潟を守る会 主催

8 / 25 (土)
守る会定例会議
時間：10:30~12:30
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-5588 (田中貞子)

久留米の自然を守る会 主催

9 / 22日 (土)
第348 回例会：筑後川観月会
例年どおり抹茶をいただきながら、
月や星の観察をします。ご自由に参
加ください。月面観察の指導は吉田
哲磨氏です。
時間：18:00 受付19:00~21:00
集合：くるめウス
参加費：300円
問合せ：0942-46-8622 (古賀)



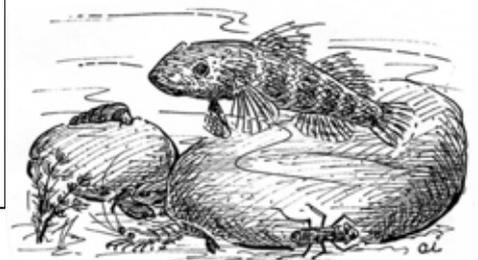
福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

8 / 19 (日)
しぜんとあ・そ・ぼ!
レンジャーと一緒に森に出かけ、五
感で自然を感じる楽しい遊びを行
います。雨天実施
11:00~ 13:30~ 15:00~
時間：10:00~13:00
対象：一般
申込み：不要・随時受付
定員：各回1時間、先着30人

8 / 26 (日)
親子で発見! 沢の生きものウォッチング
サワガニやアメンボ、カエルなど溪流とそ
の周りの生きものたちを観察します。
時間：10:00~13:00
対象：小学生と保護者 (20人)
申込み：往復はがきにて8 / 11 必着

問合せ：油山自然観察センター
参加費：100円
〒811-1355
福岡市南区松原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00~16:30 (月曜休館)



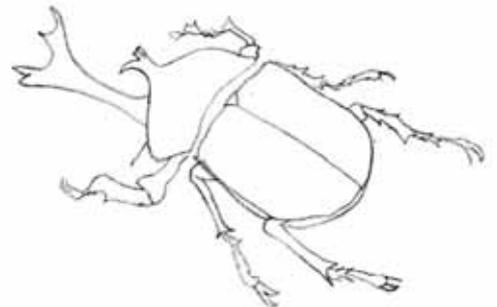
環境教育を進める上で、食育、食べることの環境教育の視点も大切ですね。味噌造り体験のお勧め！

～老舗の伝統の心と技をご家庭で～ 夏休み 親子みそ造り教室

- 【日 時】 平成 19 年 8 月 25 日 (土) 13:00～15:00
- 【講 師】 白水 勝博(しろうず かつひろ) / 地元の味噌造り名人
- 【場 所】 NPO環境未来センター希望 研修室〔福岡市中央区高砂 1-21-11 森下ビル 1 階〕
- 【参加費】 4,000 円(材料費、講師料込み) 味噌は 1 組で約 5Kg です。
- 【定 員】 親子 10 組 (幼稚園以上のお子さんが対象になります)
- 【申込み締切】 8 月 21 日 (火)
- 【持ってくるもの】 ・味噌を入れる容器 (10 リットル入り、落し蓋付)
・エプロン ・三角きん・大きめのすしおけ (家にあれば)
- 【主 催】 食育推進ネットワーク福岡
- 【申込み】 NPO 環境未来センター希望 (食育推進ネットワーク福岡 事務局)

福岡市中央区高砂 1-21-11

TEL092-522-8332 FAX092-522-8308



NAIS 福岡ホームページ掲示板より

外国産カブトムシ - ムラオ

2007/08/01(Wed) 23:18



はじめて投稿します。研究室の後輩が野外でアトラスオオカブトのを捕獲しました。7月26日、佐賀県神埼郡神埼町のあたりの県道21号線の街灯の明かりに飛来していたものを捕獲したそうです。誰かが故意に放したのか、飼育個体が逃げ出したのかは分かりませんが、外国産のカブト・クワガタが普通に売られている昨今、今後、外国産種を野外で頻繁に見かける可能性が高くなるのかもしれないと思うと、やりきれません。写真は捕獲された個体です(捕獲後、飼育していましたが、2、3日後には死んでしまったようです)。

小笹小学校5年生 自然観察の感想 ～その2～

前号に引き続き、6月22日に実施された小笹小学校5年生の、校区内の鴻巣山と平尾大池での自然観察会をお手伝いした会員からの感想をお届けいたします。送っていただいた原稿を編集の田村が短くまとめました。

- 松下彩二** 1.まずは身近なカラスやスズメを見ることから始めよう
・ハシボソガラスとハシブトガラスの声で聞き分けようとする事で観察耳を持つ練習
結果：さすがに皆耳が良く、聞き分けの基本はすぐに習得。カラスの声に「今のはブト!」「ボソ!」とクラで「判定」してくれるかな。
2.鳥以外のものもぜ～んぶ鳥にも関係がある
・前半、後半とも出現したトビズムカデに対していずれも児童が発見し次第殺そうとしたことを題材に「ムカデを殺してもシムカデがいなくなったら困ると思うか」「困るとすればどうして困るか」などをキャッチボールで考えてもらう。捕食関係にある上と下の増減を説明して「バランスが崩れると困る」という結論に大方納
《全体の感想》
生態系に関する知識と理解はかなり高くびっくり。反面、何かとすでに答えが決まっているかのような理解の流し方も見られるのは都会の子供の典型か。ただ、そうかと言ってひねたようなところは全く見受けられず素直で、質問も旺盛で好感が持て今後の「実践」に期待大。
「鳥」と範囲を狭めると悪条件の中、よく我慢して観察してくれました。感謝。とにかく当面はカラスの声で「ブト」「ボソ」聞き分けをやってくれる人が一人でも多く出現することを願います。
- 松永紀代子** サクラの枝が落ちたところに連れて行って何故落ちたのか、考えながら道路側から見て貰いました。腐っているからという答えが子どもたちからでました。自然の中には、こういった危険があることも伝えました。水生生物をやるのであれば、きちんと水の中に入れる準備をして、それぞれに道具を持たせて行く方が良いかもしれません。ペットが放されたアカミミガメ、観賞用のコイ、蚊のボウフラを食べて貰うために放されたカダヤシ(人為的な理由で増えてしまったもの)などが増えて、そのため餌の取り合いなどで負けた元々日本にいた日本のカメや、日本のメダカなどの居場所を奪ってしまったことなどを伝えました。また、アカミミガメの産卵を目撃した話などをしながら、何かがい回った跡が草むらにあることから、この場所でも産卵している可能性のあることなどを伝えました。
- 田村耕作** 池の中全体を見て、似た葉っぱの植物がかたまっていることを見てもらった。マコモ・ヒメガマ・ヒシなど。ヒメガマは、昔話の中にも登場することや雄花と雌花の集まりが、ガマの穂である。ヒシは浮き袋を身につけた植物で、水が増えても減っても水面に葉を広げる仕組みを持っていることをお話した。大切な伝言 この池とその周辺の植物は、それぞれの植物に適した場所に生えていることと、色々な種があり、その種は自分の仲間を増やすためにどんな工夫をしているかを考えてもらった。
- 鶴田義明** 皆、とても熱心で興味深く観察している態度にはほんとうに感心しました。
的確な質問も多く、双方向性のコミュニケーションが取れてとても楽しい観察会が出来感謝しています。いつの間にか小さなきのこを見つけたり、「もうあと1時間あったらいいのにね。」という声が嬉しかったです。ありがとうございました。
これからも自分が興味を持った課題に向けてしっかりと楽しく学習してくださいね。
- 小野仁** 天候のため、たくさんの昆虫に出会うことはできませんでした。それでも、40～80匹のサワガニなどを発見し、沢のない鴻巣山にも水辺の生きものがいることが分かりました。土壌～植物～昆虫～野鳥の棲む多様な生態系を感じることができる観察会でした。
- 西村裕美** 生きものにとって必要な物はなに?との質問から始めました。「食べ物・水・環境(生態系)・危険から身を守る(隠れる場所・カモフラージュ)」等の答えが返ってきた後で、改めて平尾大池公園の環境の中でどこに昆虫がいそうか考えて貰い、子供達が「ここにいそう!」と答えてくれた場所で生きものを探しました。
まとめでは、今日発見したいろいろな生きものは、どこにでもいるわけではなく、平尾大池公園という場所で生きていける生きものだから観察できた。ここでいっぱいいた生きものも、他の場所にいるとは限らない。自分達が今踏んでいる地面も、他の生きものにとっては大切な生活の場かもしれない。「何でいるんだろう」「何をしているんだろう」と疑問に思っ生きものを見ることで、それらと繋がっている何かが見えてくると思います。と伝えました。

これは何だろう!?



これは何だか
解かりますか?

《前回の解答》くすの
きの樹洞から顔を覗か
せたアオバズクの雛

訃報です。東峰村在住の会員梶原幸生氏がこの春5月18日に亡くなりました。77才でした。奥様の清子さんからの連絡です。旧宝珠山村時代に岩屋地区での観察会、ホタル観察会など開催に協力頂いたことを思い出します。ホタルの生息環境にもご尽力されたと聞いています。ご冥福をお祈りいたします。
(財)日本自然保護協会顧問 金田平氏が7月28日に亡くなりました。1978年から始まったNACS - J自然観察指導員講習会では講師として大変多くの指導員の誕生に関わられました。ご冥福をお祈りいたします。

~鎮守の森観察シリーズ・桜井神社観察会~

日時：11月3日(土・祭日)

担当：冷川昌彦

詳細は次号に掲載予定です。

『糸島の自然を訪ねよう(里地里山ふれあいガイドシリーズ)』を活用します。

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費：2000円

皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!
次回の定例会は、**9月14日(金)**午後6時より事務局で行います。9月号の原稿は、9/3(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

他団体の会報の紹介

福岡植物友の会 会報 平成19年8月号

福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.37 July 2007

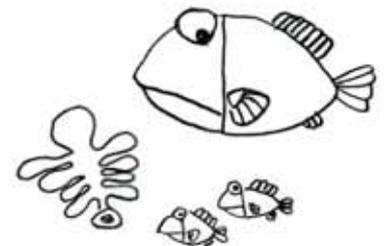
NOP法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 no.141 2007年8月1日

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第76号 2007年8月1日

九州電力(株) 2007九州電力環境アクションレポート

(財)福岡市森と緑のまちづくり協会 自然観察の森概要書 平成18年度版

自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第118号(07.7.13)



編集後記

2007年7/13定例発送会は、大塚俊樹・田中健二・藤川渡・鶴田義明・冷川昌彦・門司慶子・福田治・園田靖・田村耕作が参加。KT氏から例のクロワッサン、KM氏からぶどう大福でお茶しつつ、楽しい情報交換の場となりました。秋の鎮守の森観察会も決まりました。田字草



お問合せ：福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：冷川昌彦/事務局長：小野 仁/

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子/会計：宮原俊彦

〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17

自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-732-7042

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>